

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【 I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作っている。	○	地域の中で暮らし続けるという内容が理念に含まれていないので、理念を再考察する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝申し送り後全員で唱和し確認し合っている。		
3	—	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎朝、夕近所を散歩し道行く人に声かけを行い高齢者の存在を知っていただき自然と高齢者を尊重していただけるよう努力している。また家族配布の「いきいきたより」で啓発広報の一助としている。	○	地域への理解に更に取り組んで行く。
2. 地域との支え合い					
4	—	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎朝夕の散歩時、近隣の方達に挨拶時「見学に来てください、遊びに来てください」等声かけたり各種催行事のときは案内状を配布している。	○	今以上地域へ密着できるよう努力して行く。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会参加し各種行事、催し物等に参加している（敬老会・定時総会・ゴミ分別等）		
6	—	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者へ健康セミナーを実施したり、防犯活動（夜警）に参加している。	○	今後高齢者への虐待、各種施設の存在利用の方法等の普及に努めたい。

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価における改善事項について出来ることから順次改善している。	○	評価の内容を職員に周知徹底させ質の向上に取り組んで行く。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の結果を報告、検討し町内会加入や表示板（看板）の取り付けをおこなっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じ市役所介護保険課や生活保護課担当職員に相談している。		
10	7	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在1名市役所職員と共に成年後見人について検討中	○	過去2回権利擁護に関する研修会を開催している。
11	—	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内教育として、ビデオ鑑賞、事例報告を行うなどして虐待防止に努めている。	○	今後もテキスト等教材を活用し適時行って行く。
4. 理念を実践するための体制					
12	—	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約事項の内容を各事項ごとに読みあげ説明を行い納得、了承を得ている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
13	—	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	些細な訴えでも朝のミーティングで検討し周知徹底し対応している。特別に機会は設けていないが、外部者との交流を制限していることはなく、不満・苦情については訴えやすい雰囲気づくりを心がけている。		
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的なつつじ苑発刊便(いきいき便り)にて近況を報告している。面会時には検査データや金銭出納帳を確認してもらうなど、個々にあわせた報告も行っている。		
15	9	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から訴えがあった場合は職員並びに運営会議にて検討している。	○	定期的に返信手紙で意見を拝聴できるようにしていきたい。
16	—	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員会議を開き意見や提案を募り、反映できるよう努めている。		
17	—	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に利用者の状態、また家族の意向などに対応できるように勤務の調整も行っている。		
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動等は必要最小限に抑え 代わる場合は事前に利用者との顔合わせ等し ダメージを防ぐ配慮をしている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
5. 人材の育成と支援					
19	11	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用は介護への思いを大切にしており性別、年齢で差別はしていない。労働時間も規定内に収まるようにしている。		
20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	利用者の尊厳・人権を守ることを日頃から全職員がいつも心掛け対応しているが、代表者が教育、啓発活動には十分に組み組んでいない。	○	人権等の研修・勉強会に参加し取り組んで生きたい。
21	13	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた育成計画を立てるまでは至っていない。	○	管理者はじめ職員の研修の機会を確保していきたい。
22	14	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護保険事業者協議会に加入し交流してきたが、新たにグループホーム部会が設立したので、合同研修や相互交流を通してサービスの質の向上に努めたい。		
23	—	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	柔軟な勤務体制、屈託の無い意見を発言できる雰囲気づくり、定期的な親睦会の開催等行っている。		
24	—	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の自己啓発、資格取得、私事による都合は十分考慮し勤務しやすいように考慮し意欲が低下しないよう図っている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
25	—	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	以前から関わりのある介護職員や家族から十分に情報収集を行い更に体験入所を行い信頼関係を築けるようにしている。		
26	—	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人と家族とゆっくり話し状況を把握した上で その時必要な支援 サービスを利用出来る様努めている。		
27	—	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入苑以前までに関わってきた医療機関、介護施設、その他関係諸機関からの情報収集並びに家族や本人からの聞き取りを行い適切な対応が出来るよう努めている。		
28	15	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入苑前に自宅または、施設等へ訪問し本人に直接パンフレット等で当苑の紹介を行い、その後当苑の下見を行ってもらうなど、徐々になじめるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
29	16	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常のコミュニケーション、雑談等から本人の意思を確認しケアに生かしている。		
30	—	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	電話による状況報告を不定期に行い、ともに喜んだり考えたりして家族との関係を築けるよう努めている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
31	—	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の誕生日や各種行事の案内を行い一緒に楽しんでもらう機械が増すようにしている。		
32	—	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来苑者との関係も大切にし、手紙、電話にて関係が途切れないよう支援している。		
33	—	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い人同士隣席になるよう工夫している。毎日のレクリエーションや各種行事などでは、孤立されないようスタッフが工夫している。		
34	—	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、出来る支援をおこない関係を大切にしたいと思っている。		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
35	17	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や関係機関からの情報収集に努め本人の趣味、性格、身体機能等を考慮し思いのままに生活してもらっている。		
36	—	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報収集をもとに暮らし方を考えている。家具、日用品についても馴染みものを使用するよう家族とも相談している。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
37	—	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者の精神的、知的、身体的能力、生活履歴を考慮したケアをおこなっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスやモニタリング、また家族との面会時に意見を聞きケアプランに反映できるようにしている。		
39	19	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なアセスメント、モニタリング、サービス担当者会議による意見を反映している。しかし現在急を要するような大きな変化は生じていないためその都度計画の変更は行っていない。		
40	—	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1度のカンファレンス及び毎朝の申し送りにて情報を共有し見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況 要望に応じて通所 訪問 宿泊と病院送迎、その他生活に必要な支援は柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
42	—	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員・自治委員の支援を受け地域交流を行い、消防機関とも協力を得ている。	○	利用者の意向に応じた支援ができるよう各機関との連携を深めたい。

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
43	—	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	GHの場合、他のサービスを必要とすることは少ないが、利用者の債務整理に関わる方向性をサービス機関や市と相談する支援をおこなったりもしている。	○	今後も、支援を必要とする利用者が出てきたときは支援していきたい。
44	—	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヵ月毎に開催する運営推進会議にてセンター職員に相談助言を得ている。		
45	21	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望により入所以前の主治医を継続して支援したり、本人の状態に応じた医療支援も行っている。また事業所かかりつけの医師には24時間、緊急対応にも対応してもらっている。		
46	—	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常時適切な指導、助言が得られている。		
47	—	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師であり、地域看護師とも相談が可能で、健康面での支援や、医療活用は良く行っている。		
48	—	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院できるよう情報は常に提供している。また早期退院受け入れのための情報支援も行っている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応については利用者、家族の思いを受け入れるよう考えている。かかりつけ医と相談し全員で話し合い方針を立て支援している。		
50	—	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常に、苑で出来ること、出来ないことを明確にし、かかりつけ医と相談しながら支援に取り組んでいる。	○	
51	—	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移動先の職員、家族を交え日常生活パターンや注意事項等を説明し又、書面にて介護サマリーを提供。その後フォローアップを含めて質問や相談にはすべて答えている。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
52	23	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声掛けや記録の内容について、職員同士が意見しあい、利用者の尊厳と人権を守る事を心掛けて対応している。		
53	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いをよく傾聴しスタッフの考えが主体にならないよう、利用者本位の支援を大切にしている。		
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床から就寝まで一切制限することなく散歩、買い物、娯楽等自由に行けるよう支援している。又、各種行事は本人の体調や意思を十分に尊重し行っている。	○	歌の会、お茶会その他レクリエーションの時間をもっと増やしたい。

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
55	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみ等の整容は本人の意見を伺い支援しているが、おしゃれは利用者自身の趣味や希望もある為、本人の希望に沿って個別に支援している。		
56	25	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好の激しい一部の入居者には好みのものを毎日提供している。なお、個人の能力に応じて後かたづけ等を行ってもらっている。		
57	—	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒。梅酒、ビール等好みに応じ一定のものを預かり、要求時提供できるよう支援している。		
58	—	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	現在排泄介助者2名、そのうち1名は定期的に排尿誘導、訓練している。他の1名はp-wcで排尿訓練している。		
59	26	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日朝らか夕まで開放し好きな時に自由に入浴できるようにしている。暖簾、壁掛け等にて楽しい雰囲気を入浴が出来るよう工夫している。		
60	—	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間や就床時間を設けず、好きなときに休息、就眠していただいている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食後の後片付け、皿拭き、針仕事、将棋、ピアノ演奏等それぞれの能力や趣味を活かせるよう支援している。		
62	—	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の時スタッフは付き添うが支払いは本人が直接支払えるよう支援している。		
63	28	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調、能力、歩行状態に応じ一緒に出かけるメンバーや行き先に配慮しながらなるべく希望に添えるよう支援している。		
64	—	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望を取り入れ定期的に近隣ではあるが出かけている。		
65	—	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望でいつでも電話を掛けられるよう支援している。		
66	—	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも訪問を歓迎している。尚、気兼ねなく自由に話せるように、居室でも面会を行ってもらっている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
(4) 安心と安全を支える支援					
67	—	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者、及び職員は、法的基準に準じ、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
68	29	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には終日、終夜施錠していないが、現段階では玄関は施錠している。	○	玄関は施錠しない方向で計画している。
69	—	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	暖簾やカーテン等を利用して出来る限りプライバシーの保護に努めている。尚、外出時は付き添いのスタッフ以外の全スタッフに行き先、時間等が周知するよう勤めている。		
70	—	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	共有場所では危険物を一律に排除している。なお、ハサミ・針を使用する場合共有場所にてスタッフが付き添っている。		
71	—	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一般的な事故防止マニュアルは作成しているが個別的なマニュアルは作成していない。		
72	—	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署による普通救命講習受講や管理者による応急手当法の勉強会を実施している。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に隣の学生寮寮長と連携して火災訓練を行っている。	○	地域の人々の協力を得られるような関係までは築けていない。運営推進会議での今後の課題として話し合っており、災害時の対策を近隣の状況を把握しながら見直していきたい。
74	—	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時家族へ高齢者の特長について説明し、一人ひとりに起こり得るリスクについても、家族等に説明し対応策を検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
75	—	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	持病などを把握し、朝の申し送りによる情報の共有・毎朝のバイタルチェックによる平均値の把握し、また本人の顔色や表情などに留意し異常の早期発見につとめている。		
76	—	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人の処方箋一覧表を作成し常時閲覧できるようにしている。また状態の変化に応じ医師へ相談、服薬の調整などに努めている。		
77	—	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日テレビ体操、水分補給及び毎日屋外散歩を行うなど便秘予防に努めている。献立にはなるべく野菜を多く採れるよう工夫している。		
78	—	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自立にて歯磨きができる利用者へは声掛け、及び誘導を行い全介助入居者には歯磨き介助を行っている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝、昼、夕の食事量の確認、チェック、記録。体重測定、医師による定期的検査を行い、個々の状態、変化に応じ食事や水分の摂取を支援している。		
80	—	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルをもとに、手指消毒液の設置、各種処置前後は手洗いの励行及び必要に応じ手袋の使用を行っている。必要に応じマスクも使用している。		
81	—	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は新鮮なものを使用し、調理器具は日光及び薬液（ハイター）による消毒を行っている。定期的な冷蔵庫の掃除を行うなど、衛生管理に勤めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
82	—	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには和風庭園を作り、花壇には利用者の皆さんと花を育て、普通の生活が営まれているような雰囲気を作り、家族、近隣の方も親しめるよう工夫している。		
83	32	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空間としてはそれぞれが広く、ゆっくり出来るスペースを確保している。四季折々の花で彩り季節感を出し、ピアノを置き居間の雰囲気を作るなど工夫している。また各居室の入り口にはそれぞれの造花を飾るなど色々と雰囲気作りをしている。		
84	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間には、ソファを設置し思い思いに過ごせるようなスペースを確保している。利用者同士の過ごし方も個々の思いを大切に支援している。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己	外部				
85	33	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が長く使い慣れた日用雑貨を利用するよう勧め自宅の延長の雰囲気をかもし出し居心地に工夫している。		
86	—	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気については窓の開閉や換気扇で、温度、湿度は利用者の状態に合わせ、空調機で調節しているが、まず衣類の調節や自然の風を大切に考えている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
87	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベット、布団、ポータブルトイレ等各人の身体機能に応じた環境作りを行い快適に暮らせるよう工夫している。なお、廊下、居室、共有場所はバリアフリーを実施。		
88	—	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱招かないように居室、トイレ、玄関、風呂場等分かりやすいように壁に明示している。		
89	—	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋外駐車場を利用し野外食、日光浴、夕涼みを行っている。又、スタッフと共に花壇作りを行っている。		

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）	
V サービスの成果に関する項目				
90	—	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2／3くらいの ③利用者の1／3くらいの ④ほとんど掴んでいない
91	—	○利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
92	—	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
93	—	○利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
94	—	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
95	—	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんどいない
96	—	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2／3くらいが ③利用者の1／3くらいが ④ほとんど掴んでいない

地域密着型サービス外部評価の自己評価票（網掛け部分は外部評価の調査項目）

福岡県 グループホーム国分つつじ苑

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）			
97	—	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①ほぼ全ての家族と	
					②家族の2/3くらいと	
					③家族の1/3くらいと	
					④ほとんどできていない	
98	—	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①ほぼ毎日のように	
					②数日に1回程度	
					③たまに	
					④ほとんどない	
99	—	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①大いに増えている	
					②少しずつ増えている	
					③あまり増えていない	
					④全くいない	
100	—	○職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①ほぼ全ての職員が	
					②職員の2/3くらいが	
					③職員の1/3くらいが	
					④ほとんどいない	
101	—	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①ほぼ全ての利用者が	
					②利用者の2/3くらいが	
					③利用者の1/3くらいが	
					④ほとんどいない	
102	—	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
					①ほぼ全ての家族等が	
					②家族等の2/3くらいが	
					③家族等の1/3くらいが	
					④ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

国分つつじ苑は自然環境に恵まれており風光明媚な高良川の傍にあり、毎日高良川のサイクリングロードを利用者・スタッフ共々、和気藹々と楽しく散歩することが日課となっています。近隣の方々からも和やかに声を掛けられるようになり地域の皆さんとの交流も日々深まっています。また当苑は平屋建ての1ユニットの特徴を活かし、十分なサービスを提供するとともに園内の清掃管理にも力を入れております。入居者のご家族からも「サービスがよく、ここに連れてよかった」「清掃が行き届き綺麗」など感謝の言葉をいただいたりします。さらにスタッフからも「将来は国分つつじ苑に入りたい」という声も聞け、管理者として、憧れるグループホームになりつつあるという思いで頑張っております。